

食 農 部 門

令和元年度受賞

上野村とちもち会

推薦者：上野村長

活動をはじめた時期：平成11年9月

～活動報告～

上野村に自生するトチの木の実を有効利用した郷土料理である「とちもち」を村内外でのイベントにおいて、体験を含め提供している。

餅をつき、にぎり、その場でほおぼってもらう体験の中で参加者に「『とちもち』のおいしさ」と「自然のありがたさ」「人と人との交流のあたたかさ」を伝えるとともに、山村における希少なボランティア活動の模範となっている。

イベントで「とちもち」を提供するためには、約1ヶ月間毎晩トチの実の皮むきをしたり、木灰を使った伝統的技法で何日もかけてあく抜きするなど、目立たない根気のいる作業もあるが、会員の熱意で継続している。

また、トチの実の確保のため村内外の方々の協力を得ており、これをきっかけに村外の小学校の児童との交流が始まるなど、活動に広がりが生まれている。

活動の様子

とちの実の下処理



イベントでのとちもちつき



あんこ包み体験